

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月7日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科クリエイティブビジネスコース
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年5月20日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア州立大学フラトン校(日本語名) California States university Fullerton(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月中旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	37,648(2023 春時点)
創立年	1957

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	11,244	1,686,600+120 万円	明治大学から 1,200,000 円 奨学金
宿舍費	8,850	1,327,500 円	
食費	6,000	900,000 円	
図書費	200	30,000 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		25,800 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	500	75,000 円	
医療費		円	
保険費	1640	246,000+102,635 円	形態:
渡航旅費		291,120 円	
ビザ申請費	500	75,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	28,934	5,959,655 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港 目的地: John Wayne Airport (SNA) 経由地: Seattle-Tacoma International Airport (SEA)
復路 出発地: Los Angeles International Airport 目的地: 羽田空港 経由地: Incheon International Airport (ICN)
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:DELTA Air 料金:175,140 復路 航空会社:Korean Air 料金:115,980 ∴合計:291,120
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Trip.com)
<input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: HIU) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
先輩、国際事務室、インターネット
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>学校からも近く、食堂でも十分な量のご飯があります。部屋に関しては、ベットと勉強机、トイレ、シャワールームと、最低限な広さですが、そのおかげで自分はルームメイトとコミュニケーションをとる機会をたくさん得ることができました。また、寮全体での共有スペースも多くあり、別部屋の人とも話す機会が多かったし、ビリヤードをしたり、卓球もできたり、ある人はビデオゲームをしたりなど、遊んだりもできたので、楽しかったです。ユニットバスルームで、誰かが使っていると使えなく、四人部屋だと少し不便と思うこともありましたが、自分は許容範囲でした。四人のうち、三人が一限で、朝のシャワールームとトイレの取り合いがあるなどの問題はありますが、慣れていくうちになんとかなるようになりました。あとは、洗面台、トイレ、シャワールームは複数人で使用することになるので汚れやすいので、定期的な清掃が必要でした。自分の場合はみんなで話し合ってみんなでやったり、気づいた人がやったりなどになっていました。アメニティとしてはマットレスだけだったのでシーツ、枕、毛布やシャンプーなどは自分で買いそろえる必要がありますが、歩いてすぐのスーパーなどで生活用品の調達は済ませることができたので楽でした。寮主もいい人だったし、全体的に自分はとても心地よく感じれる良い寮だったと思います。</p>

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

そもそも学校、寮内にいる時間がほとんどだったので、大きなトラブルには巻き込まれなかったのですが、寮内の共有のコインランドリーで私物の盗難が何度かあったのは聞きましたし、自分も一度盗難にあいました。替えがきくものだったので無視しましたし、誰かに言ったとしても、大きな問題としてとらえられることもないんだろうなって感じでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校のWi-Fiは非常にいいものでしたが、寮内のWi-Fiはたまに接続が弱くなることがありました。他の場所ではフリーWi-Fiを探しては接続するという感じでした。街のフリーWi-Fiは接続が十分なものが多かった印象です

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で作ったクレジットカードとデビットカードをもっていきました。足りなくなったり、旅行などで大きなお金が必要になるときは親に相談して送金してもらいました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

自分のお気に入りの化粧品などの日本の物は十分に持っていったほうが良いと思いました。日本食は日本で買う方が断然安いと感じました。他はむこうで調達しました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に作っていたクレジットカードで払いました。行く少し前、だいたい8月ごろに払ったと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 申請中 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Developmental ESL writing		ESL ライティング
科目設置学部・研究科		
履修期間	2023 秋	
単位数	2	
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回	
担当教授	Jackie Pak	
授業内容	英文法、エッセイの授業	
試験・課題等	前半は文法問題について、後半はエッセイ課題。 試験は中間、期末二回で、中間では文法問題、期末は文法問題、エッセイ課題。	
感想を自由記入	この授業は 100 番台でもあり、授業時間も少ないので楽でした。少人数クラスなので教授も手厚く面倒を見てくれました。エッセイ課題を提出して、フィードバックをもらい、セカンドドラフトの提出に進むので、どこが良くどこをどう直せばいいのかまで詳しくフィードバックをもらえるのでとても成長を実感できました。授業内容も英文法についてなので、既存知識について、英語で学ぶことになるので、言ってることが理解できやすいし、面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回
担当教授	Sergio Banda
授業内容	この授業は課題がメインのクラスでした。授業では、最近のニュースを取り上げ、ホールディスカッションをしたり、社会学の基礎知識について学びました。課題では授業で取り扱った内容をさらに深掘りしていく内容の選択問題集を解きました。
試験・課題等	授業トピックに関連した選択問題集、レポート課題、期末テスト(選択問題)
感想を自由記入	50 分授業と短い時間でしたので授業内はとても集中することができました。あとは、コンピューターの使用が禁止されていたので、ノートに板書を書いたり、気になるニュースのトピックなどをメモしていました。なので、ケータイを触る人が少なく自分も誘惑がなく集中できました。この授業は前半で教授がその当時のニュースなどからトピックを出して、自分で話したり、周りに意見を求めたりして、のような形でした。授業の後半は、スライドを使って社会学の学べきトピックについて、という感じでした。課題についても親身になって相談に乗ってくれたりしたので、特に困ることなくやり切れました

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Urban Anthropology	都市人類学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sarah Grant
授業内容	都市、地方の構成について、都市の構成物の役割、地方ごとの人の変化など
試験・課題等	3.4 週に一度 A4 一枚のレポート課題、中間テスト、期末テストともに筆記課題
感想を自由記入	この授業では正解はなく、ホールディスカッションでどんどん意見を出し合い、理解を深めていくという内容でした。トピック自体は面白いのですが、周りのディスカッションのスピードについていけなかったり、英語でうまく伝えきれなかったりなど、自分自身課題が多かったです。その中でも、レポート課題然り、日本との比較、を重視できたと思っています。州ごとですら街の雰囲気や人も変わるアメリカですがその中でも日本への理解が深い自分の知識を最大限活用し、違いを見つけ、話を膨らませたり、自分の主張を確立させたりできたかなと思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Liberal Studies	リベラルスタディ
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ホールディスカッション、授業内課題(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jawad Ali
授業内容	各トピックについてデータなどから自分の意見を導く
試験・課題等	トピックプレゼンテーション、レポート
感想を自由記入	このクラスが一番難しかったです。周りのレベルも明らかに高く、最初の方は全くディスカッションに参加できませんでした。なので、授業前に開示されるレジュメを見て、予習をして、わからない単語、トピックは調べる、課題になりそうなところをチェックする、などの準備を行ったら、少しは内容についていけるようになりました。今まで触れてすら来なかった内容について考えさせられることが多く、その場で自分の意見を出すことすら難しく、ましてやそれを英語で話す、というのは大変でしたが、グループディスカッションの際は、グループメイトが、ホールディスカッションの際は、クラスメイトや教授が優しく教えてくれたり、サポートしてくれたおかげで、なんとか参加しきることができました。このような自分のレベルよりもはるか上のクラスを履修し、チャレンジしたことは自信にもつながりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intermediate Basketball	中級バスケットボール
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 秋
単位数	1
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実技(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回
担当教授	Michael Bueter
授業内容	基礎、ペアトレーニング、試合
試験・課題等	とくになし
感想を自由記入	英語の授業が 2 単位だったことから、もう一単位とる必要があったため、この授業を履修しました。さらに自分は長い間バスケットをしていたので、自分が好きなスポーツを通じているんな人とのつながりも持てるだろうと思いこの授業に決めました。レベルが高いかもと言われていたので少し緊張していましたが、自分含めみんな同じくらいのレベルだったので、楽しく過ごすことができました。授業外でも筋トレをしていたり、バスケットをして会うことがある同じ履修者がいたりしたのでつながりを作れ、楽しくバスケットができたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
World Civilization to 16 century	16世紀までの世界史
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Stefan Chrissanthos
授業内容	世界史、世界文明について
試験・課題等	選択問題の小テスト二回、記述式小テスト一回、エッセイ式の期末試験、レポート期末課題
感想を自由記入	この授業は履修登録時の不備などにより最初からではなく少し後から参加しました。そのため最初はついていき、遅れた分を取り戻すのに必死にたくさん時間をかけました、そのためペースをつかむのが大変でしたが、慣れてきたらルーティンができ、少し楽になりました。もともと高校時代から日本史選択で世界史には全然触れてこなかったもので、その分前提知識もなく、苦労しましたが、教科書を読んだり、時間をたくさん書くことで、時系列を確認し、日本史を進めた時と同じ要領でできました。分からないところやレポートかだについてなどは、教授に聞きに行ったりメールをすることで手厚く支援してくれたのでとても助かりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Human Geography	人文地理学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Lei Xu
授業内容	文化や人種などと地理学の関係、推移などについて
試験・課題等	選択問題、記述問題の中間、期末試験、レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	この授業は地理と人間の関係についていろんなデータやグラフにふれながら学んでいく授業でした。教授がアジア人だったこともあり、アジア圏の例が良く上がったりすることが多く、その中に日本の話題も混ざっていることがあり、親近感のある話題も多くありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
American Literature from 1865	英語講読
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Chris Ruiz-Velasco
授業内容	課題図書についてグループディスカッション、ホールディスカッション
試験・課題等	課題図書の講読
感想を自由記入	この授業では予習が大変でした。課題図書は量が多く、さらに少し昔の文章であったこともあり、方言のようなあまり見たことのない表現も多く見られました。ですが繰り返していく中で、慣れ、少しずつ読めるようになっていきました。さらにディスカッションでも最初は読むことに必死だったのでこの作品のポイントはどこでここが重要な表現になっているなど、何もわからずただ聞いているだけでしたが、慣れていくにつれて、自分でも意見を持つことができるようになっていきました。ディスカッションに参加し、時には高度な内容になることもありましたが、全体として、自分の成長が感じられたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing	マーケティング理論
科目設置学部・研究科	
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 165 分が 1 回
担当教授	Olga Di Franco
授業内容	マーケティング理論について動画学習で予習、その後クラスでディスカッション
試験・課題等	動画学習課題、小テスト、グループプロジェクト
感想を自由記入	この授業は、週一回開講だったので、授業時間が長く、大変でした。ですが、動画教材で予習をするので、自分のペースで、しっかり理解できるまで準備ができるので、万全で授業に臨めました。グループディスカッションやプロジェクトでは、実現性を考慮したり、実際の企業について話し合ったりなど、かなり実践的な内容に踏み込んでいたので理解も深まり、理解を応用して実践できたのがこの授業で得られた大きなことだと思います。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

この時期に返ってくるプログラムの人は、復学まで時間があるので、早めにインターンシップを見つけ、帰ってきたらすぐ始められるように、あとは留学先国で行われている日本人パイリンガルのような就活イベントなどがあるかどうかなど、事前に調べることが大事だと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	応募、IELTS
	8月～9月	
	10月～12月	説明会
留学開始年	1月～3月	航空券取得
	4月～7月	ビザ発行
	8月～9月	出発
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	五月帰国
	8月～9月	インターンシップ
	10月～12月	復学

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

まず私がこの学校を選んだ経緯は、国からです。アメリカという大きな国で、多人種がいて、広くて、日本とは何もかもが違う、そんなアメリカにずっとあこがれていました。なのでもともと選択肢はアメリカ一択でした。その中で、都市部に行きたいという気持ちがあり、カリフォルニアを選びました。正直、その中でフラトンを選んだ理由は特にこれ、という決め手があったわけではありません。応募条件とキャンパスの写真をネットで見たり、その程度でした。もともと何かやりたいことが決まっている人や、学びたいことが決まっている人はそれに合った授業、専攻、教授などでいろいろ探せると思います。なので、好きな映画の舞台が近いから、とかそんな理由でもいいと思います。大事なのは、自分がそこで何をするか、です。留学生活は毎日新しいこととの出会いの連続で、あっという間でした。新しい環境、今までとは違う言語、毎日がとても刺激的でした。自分が留学を楽しみ、自分の語学力を伸ばすために努力したことは、たくさんの友達を作るのではなく、仲のいい友達を一人作ることでした。性格上、大人数は苦手なので、わざわざその性格に無理をしてまでせっかくの海外経験の時間を楽しもう、とはなりません。自分のままで、その中でそれに合った生き方、過ごし方を考えました。さらに最初の方は、話せない、聞けない、となると、会話しようと思えなくなったり、思われなくなったりなどがあるので、気の許せる友達がいたことは私にとっては救いでした。会話の途中でわからないところがあれば何でも聞いて、自分の言いたいことをつたない英語からくみ取ってくれようとしていたりなど、かなり良くしてもらったので、話せるようになったり、そう言ってもらえたりしたときには、自分の成長を感じ、自信にもつながりました。向こうでは予想だにしていないことの連続です。その中で、自分を失わずに、自分のペースで、周りに流されずに、自分のやりたいことをやって頑張ってください。

留学前のアドバイスとして、やれる事前準備は、できる限り早めに手を付けましょう。向こうでの生活費の貯金から、ビザ申請、I-20、航空券、宿泊先、全部自己責任です。自分は、全部、後回しにし続け、出発前にとってもバタつきました。かなり面倒な作業だし、英語で書かれている書類をたくさん読まなければならないこともあります。すぐやりましょう。自分は宿泊先を決めるのがぎりぎりになったり、飛行機の乗り換えが1時間で、間に合うわけもないスケジュールで予約してしまい、当日乗り換えをミスして、手続きも何を言っているか分からずただ新しく渡される航空券を見て6時間待つことを知る、ということになりました。そうすると、何もかもが最初から不安になってしまいますので、なるべく余裕をもって準備を進める、こまめにメールをチェックする、わからないことがあるなら、国際事務室、または連絡先を持っているのなら、留学に言っていた先輩に聞くなどしましょう。

留学は簡単に行けるものではないということを実感し、周りの支援に感謝を忘れず、自分自身が楽しむことを忘れずに、頑張ってください。

何か分からないことや気になることがあれば何でも相談してください。力になります。